

学会便り 第132回春期大会報告

第22回「女性会員の会」報告

The 22th women's meeting of the Japan Institute of Light Metals

関 史江*

Fumie SEKI*

第132回春期大会中、名古屋大学東山キャンパスで、5月20日(土)12:00~14:30入退室自由の、第22回女性会員の会を開催しました。参加者は合計21名(女性17名、男性4名)でした。美味しいお弁当と、地域銘菓をいただきながら懇談しました。名古屋銘菓：金のえび天(JR名古屋タカシマヤ限定商品)、シェ・シバタ焼き菓子、ごっさま、二人静、おときき山(世話人 上田 薫)、岐阜銘菓：若鮎(世話人大島智子)。本大会に合わせて、懇親会時間帯も含め学会託児室を設置しましたが、今回の利用はありませんでした。次回も託児室を設置しますので是非ご利用ください。

【自己紹介：氏名・所属，専門分野，将来の夢】

早稲田大学博士課程学生、権藤詩織さんから、日本機械学会誌「特集 メカジヨの未来」(2017年3月号, pp.4-21)が届きました。どうしたらメカジヨを増やせるか? 機械系女子学生座談会で、機械系を選んだ理由、将来の夢、学会に対する期待などを聞いた結果です(機械系女子学生4.5%、日本機械学会女性は2.6%) (軽金属学会は、約4%)。

これを受けて、将来の夢・夢など話してもらいました。今回は初めての参加者が多かったので、話は懇親会会場でも続けられ、お互いに交流を図りました。

【話題提供：産業技術総合研究所 千野靖正先生】

家事育児に、自然体で臨まれているマグネシウム研究者がいらっしゃると耳にしたので、「研究系共働き家庭の子育て作戦」と題した、3歳と9歳のお子さん達とともに過ごす、忙しくも楽しい日々の生活を、千野靖正先生にご紹介頂きました。特に、家事のポートフォリオ図、縦軸上下に定期的な仕事と不定期な仕事を配置し、横軸の両端に夫と妻の実施率を取って、千野家における育児家事の分担を見える化したスライドは、たいへん興味深く感じました。若手は仕事と結婚との両立の可能性を考えながら、育児の荒波に揺れる仲間達は、自分の生活と比較し頷きながら話を伺いました。今回のスライド作成に当たり、研究者であるお連れ合いの意見を聞いたところ、修正点が多く指摘されたこと等も楽しく披露されました。子育てしながら研究を続けるご夫妻の経験から、多くの具体的な工夫例が挙げられました。1) 親戚が遠い場合、どこに住むか：妻の職場近く(夫の通勤リスクはお金で解決)、2) 保育園：妻の職場近く、3) 出張・出張時の工夫、4) 飲み会、5) 土日の過ごし方、6) 子供のお稽古、7) 子供の



第22回女性会員の会



懇親会場

病気・ケガ、8) まとめ：目に見えにくい家事分担が明確になった。「普段の生活を見直すよい機会になりました」と、千野先生から感想を頂きました。

昨年秋の本会合コメントで、あまりにも忙しい日々を追われているので、もっと時間が欲しい (!!)と願う会員が多数いました。今回の工夫例は、家事育児の効率化に、有益な情報になったものと確信します。今回の話題提供が好評だったので、男性の話題提供も続けたいと思います。他薦と自薦共にお寄せ下さい。よろしくお願い致します。

最後に、大会実行委員長 興戸正純先生、女性の会担当市野良一先生と大会実行委員のご配慮、力強い応援会員の皆様に改めて感謝いたします。

世話人：関 史江、上田 薫、大島智子、小原美良

軽金属学会「女性会員の会」の歴史は以下をご覧ください。

<http://www.jilm.or.jp/society/?mode=content&pid=53>

*元 東京大学、現 ATEX_FUMI技術アドバイザー(東京都国立市)
受付日：平成29年6月9日